

智辯学園奈良カレッジ 中学部・高等部

智辯学園 奈良カレッジ

中学部・高等部

2021
School
Guide

Chiben Gakuen
Nara College
Junior & Senior High School

2021
School
Guide



本誌はCOCOAR2を利用した、
動画も見られるパンフレットです。
※詳細はP22へ



本誌はCOCOAR2を利用した、
動画も見られるパンフレットです。
※詳細はP22へ

感謝の心と 堅い絆 ——そして未来へ



誠実・明朗

目標とする人物像

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神をもって、使命を全うする人
3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人
4. この世に生を受けた幸福を知る人



学校法人 智辯学園 理事長 藤田 清司

あたりまえのことを、あたりまえに

二上山の麓に学舎を定めて十有余年、カレッジ教育の基礎も定まり、いよいよその真価が問われるときを迎えました。

この間、グローバル化の潮流の中、日本社会は刻々と変化し、子どもたちを取り巻く環境や子どもたちの気質も大きく変わりました。私自身、これからの社会のあり方が気にかかるのはもちろん、活力と節度ある社会の基盤をつくる教育の責務の大きさを自覚し、渾身の力を振るって、気鋭の若者を今後も世に送り出す決意であります。

智辯学園は、開校以来“愛のある教育”という教育の原点を見つめ、“誠実・明朗”―「真心のある明るい元気な子」―に育てて欲しいとする親の願いを叶える教育を進めてきました。この建学の精神のもと「それぞれの子どもが持つ能力の最大開発」と、「宗教的情操に基づく心の涵養」という二つの重点目標を掲げ、勉学・スポーツ・芸術活動を通して、「感謝」の心と、「相互礼拝・相互扶助」の精神を養い、社会に貢献できる人間を育成してきました。

とりわけ、日常生活では、挨拶・言葉・礼儀・服装など、今まで社会人

としてごく普通に持っていた規範意識を、今もあたりまえのこととして身につけられるよう求めてきました。社会がどのように変わろうとも、変わってはならない「不易」のものがこそが、秩序ある社会の土台だと考えるからです。いかなるときも、「ぶれない」「揺れない」、これが智辯教育の真価であり、自信と誇りの源だと自負しています。

また、やり抜くための「厳しさ」も学園教育の特質の一つです。これからの時代に生き、自己実現を図るには、厳しさを持たねばなりません。その厳しい日常を支えるのが、努力を惜しまない教員・保護者・生徒のつくり出す三位一体の関係です。克己の心で精励する個人と、感謝と扶助の心で支え合う全体、この二つが縦系・横系に絡み合い、一体となって織りなす教育でありたいと願っています。

学校は勉強するところであり、人間の土台を育てるところであると考えています。「あたりまえのことを、あたりまえに」続けながら、生徒に寄り添う教育を通して、未来を切り開く高い叡智と、豊かな人間性を備えた人材を育成し、更なる飛躍をめざします。

沿革

平成16年4月	智辯学園奈良カレッジ小学部・中学部開校
4月	中学部および小学部第1回入学式
平成19年4月	中学部1期生が高等部へ進学
平成20年4月	緑栄橋および第2グラウンド供用開始
平成21年1月	高校棟供用開始
平成22年3月	中学部1期生が卒業
4月	小学部1期生が中学部へ進学
4月	第2体育館供用開始
平成25年4月	小学部1期生が高等部へ進学
12月	講堂棟竣工
平成26年6月	創立10周年記念式典挙行
平成28年3月	小学部1期生が卒業

学校法人 智辯学園



智辯学園中学・高等学校

奈良県五條市野原中4丁目1番51号
TEL 0747-22-3191



智辯学園和歌山中学・高等学校

和歌山県和歌山市冬野2066番地の1
TEL 073-479-2811

不易と流行

いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。

常に新しく変化している、その時々流行を取り入れることこそが不易の本質です。

奈良カレッジでは、長年培ってきた歴史こそがこの「不易と流行」そのもので、時代の先を読み取り、社会に通じる人間力の育成を図ってきました。

また、宗教教育を土台にした礼儀作法や思いやりの心など、内面的な部分も鍛えられ、高いレベルの人間教育を実現させています。

志をもって 未来の社会を 生きる力



流行 不易

キャリア プログラム

未来の仕事を考える

- 仕事人インタビューでの学び
- 夢や志を具体化する場

リベラルアーツ プログラム

教養の幅を広げる

- 多分野の教養講座
- 専門家による教育講演

グローバル プログラム

グローバルリーダー

- 多様性から学ぶ姿勢
- 新しい価値を創造する力

知力

学力・知的好奇心
論理思考・表現力

心の教育 ↔ 夢・志の教育

感謝・共感・貢献

教養・好奇心

三位一体教育

生徒・保護者・教員による
信頼と協力

キャリアプログラム

中1・中2の教養講座などにより教養や見識を広げながら、中3では一年間を通して、一人ひとりの夢や志を具体化するプログラムを実施しています。各自がめざす仕事分野ごとのグループに分かれて探究活動を行い、その学びをふまえて実社会で活躍されている仕事人に直接インタビューを行います。そして、その成果を同学年の仲間だけでなく、後輩や保護者に向けて発表します。この一連のプログラムによって、自分が描く「未来の仕事」について決意を固めます。

TOPICS 校外コンテストへの参加

「キャリア甲子園」(全国大会)

- テーマ別選考会で最優秀校となりファイナル進出(2018)

「ナレッジイノベーションアワード」

- 中学生アイデア部門グランプリ(2015)
- 優秀賞(2016)
- 高校生アイデア部門優秀賞(2016・2017)



「少年の主張」(奈良県大会)

- 最優秀賞(2014・2016)
- 優秀賞(2014・2015・2016)

「私の折々のことばコンテスト」

- 高校生の部 鷲田清一賞(2016)

「エコノミクス甲子園」(奈良県大会)

- 優勝(2014) ■ 準優勝(2015)

「ビブリオバトル」(決勝大会)

- ゲスト審査員特別賞(2019)

リベラルアーツプログラム

さまざまな機会を通して自らの教養の幅を広げることは、人生の財産となるだけでなく、将来のキャリア観を育む上で不可欠なことです。奈良カレッジでは、中1・中2の学年では、医学や考古学、知的財産権など、さまざまな分野の専門家による教養講座を希望選択制で受講します。また、全学年を対象として実施される教育講演会では、各分野で先進的な取り組みをされている講師による情熱のこもった講演を聴き、将来の夢や志を考える良いきっかけとなります。

グローバルプログラム

これからの時代、世界中のさまざまな人々と手を携えながら新しい価値を創造することが求められます。奈良カレッジでは、国際言語である英語の4技能を重視したカリキュラム展開や視野を広げるための国際交流行事はもちろんのこと、中2から高1までの3学年の希望者を募って実施される「エンパワーメントプログラム」など、一歩踏み込んだグローバル研修を実施しています。こういった6年間のグローバルプログラムによって、生徒たちは多様性のある国際社会において協働できる人材「グローバルリーダー」へと成長していきます。

TOPICS

エンパワーメントプログラム



外国人講師によるファシリテーターのもと、海外や日本の大学で学ぶ外国人留学生が本校生徒5～6名に対し一人ずつ付いて指導するもので、グループディスカッションやプレゼンテーションをすべて英語で行い、コミュニケーション能力の向上やリーダーシップの涵養、ポジティブシンキングの姿勢を身につけるものです。最終日は保護者も見学し、最終プレゼンテーションで盛り上がりました。

知力を伸ばす教育

知力の徹底的訓練を期す

60分授業と年間240日の授業時間を確保し、有効かつ柔軟に授業を進めます。特に国語・数学・英語の基礎力養成に重点を置き、高校段階の応用力を必要とする学習に備えます。さらには、変化する大学入試制度へより一層対応したカリキュラムや学習内容を実施することが主な目的です。

60分

1コマの授業時間

34コマ

1週間のコマ数

約240日

年間授業日数

人間力を育む教育

週に一度「宗教」の授業があります。この授業を通して、人や自然に対する優しさを学び、感謝と奉仕の精神を育みます。さらに、高校段階では倫理観や人生観に関わる学習へと発展します。あらゆる機会を通じて「情感を育む教育」を行い、感謝と奉仕のできる人間に成長できるよう努めます。



三位一体の教育

生徒と保護者、そして教員の信頼と協力があってこそ理想の教育が開花します。進路選択の時期や各学期末に三者面談を行い、生徒の将来について真剣に話し合います。また、教員が学校での生徒の様子を保護者に伝えることも重視しています。保護者と教員が共通の認識を持って、生徒に向き合うことがよりよい結果を生み出します。

教員による生活日誌と添削指導

生徒それぞれが日誌を作り、教員が確認します。また生徒自身が日々やることを書き上げ、それができたかできていないかを自らチェックします。添削指導においては、問題の解き方や、ミスした箇所を細かく添削することで、生徒の弱点や苦手箇所を分析し、徹底した個別指導をしていきます。



奈良カレッジのイベント

中3
キャリア
教育

- 仕事グループの結成
- 職業分野ごとの調べ学習
- 仕事人インタビューの企画・準備・実施

●キャリア教育発表大会

●ナレッジキャピタルでの社会見学
(未来の仕事を考える)

●ナレッジイノベーションアワード

●1600文字の決意表明文集製作(未来の仕事に向けた志望理由書)

キャリア プログラム

京都大学ELCAS

最先端科学の体験型学習講座に参加して、医者をめざすモチベーションが高まりました。



大阪大学SEEDS

大阪大学の教育研究力を活かしたプログラムで、最先端の科学技術を体感できました。

奈良県次世代教員養成塾
(通年で実施)

参加した生徒が、国公立大学のAO推薦入試で合格しました。

私の折々のことばコンテスト

ボランティア・スピリット・アワード

2019年度中学生部門で関西ブロック奈良県のブロック賞を受賞しました。

少年の主張

高校生議会

エコノミクス甲子園

模擬国連

社会科の先生を中心に、学校ぐるみで応援してもらいました。参加したことで向上心が芽生え、その後の自分自身の推進力になりました。



ビブリオバトル(本の甲子園)

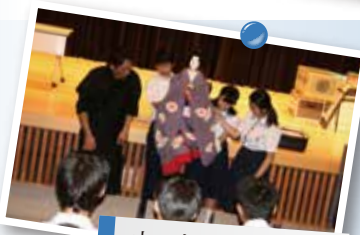
奈良県代表として参加した全国高等学校ビブリオバトル決勝大会で、ゲスト審査員(辻村深月)特別賞を受賞しました。



リベラル アーツ プログラム

アスペン古典セミナー(8月)

古典をテキストとして高校生同士が対話を重ね、人生をより善く生きることを学んでいくセミナーで、有意義な経験となりました。



中2文楽鑑賞(6月)

高1能楽鑑賞(9月)

音楽鑑賞会
(10月)



高1社会見学(10月)

各グループに分かれて京都を舞台に主題学習を行いました。見学してもらった企業や団体に対して事前に連絡を取った上で訪問し、その後学習した内容を発表しました。



中1・2教養講座(11月)

考古学講座
「旧石器を作ろう」
数学講座
「折り紙の数学
ー数学って何を研究しているの?ー」
地球科学講座
「私たちの住む紀伊半島のふしぎ」
日本文化講座
「経師に教わる和本の世界」

医学講座
「医師への道と医師の仕事とは?」
文学講座
「味を活字にするーフードライターの仕事って?」
知的財産講座
「知的財産とは何か」
公認会計士講座
「たこ焼き屋さんの経営にチャレンジ!
ー会計と監査の仕事を学ぼう」



グローバル香芝
との交流会

グローバル香芝(香芝市国際交流市民の会)さんの協力の下、日本で生活している外国人の方と交流しました。



アメリカ短期留学(3月)

イギリス短期留学(3月)



グローバル プログラム

流行

1 学期

2 学期

3 学期

不易

知力

心の教育 夢・志の教育

三位一体 教育



中1オリエンテーション合宿(4月)



中間考査(5月)

期末考査(6月)

夏季補習(8月)

高2進学座談会(9月)

先輩は熱っぽく語り、後輩は真剣に耳を傾けました。先輩とのディスカッションを通して大学合格の秘訣を学びました。



中間考査(10月)

期末考査(11月)

高2進学講演会(12月)



学年末考査(2月)

中1高野山合宿(3月)

普段と違う環境で
人間力を高めます!



高1錬成会(4月)



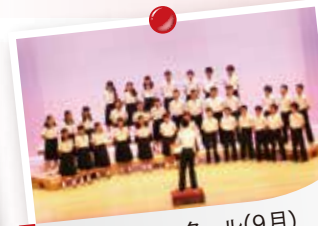
中1林間学校(7月)

中2臨海学校(7月)

球技大会(5月)

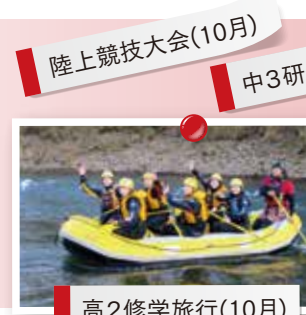


中3東大見学(8月)



中学合唱コンクール(9月)

文化発表会(9月)



高2修学旅行(10月)

中3研修旅行(10月)

中2小中交流会(11月)



ウォーキング(3月)



入学式(4月)

中1保護者オリエンテーション(4月)

育友会総会・授業参観(5月)

三者面談(8月)



さまざまなイベントを通して
友達との絆も深まります!



三者面談(12月)

保護者懇親会(12月)



高校卒業式(2月)



中学卒業式(3月)

大らかな自然に
囲まれたキャンパスで
一人ひとりが輝く一日が始まる。

School Map



読書タイム

1 8:40

心を落ち着け、1限目の授業に集中できるように読書を行います。

御真言・御宝号

2 8:50

毎朝お唱えし、心安らかに1日が過せるように祈ります。「本日のお言葉」は卒業しても記憶に残る宝ものです。

午前授業

3 8:50
10:00
11:10

お昼休み

4 12:10

お弁当は当日の朝に予約することで購入でき、パン・ジュースは予約なしで当日購入できます。

午後授業

5 12:45
13:55
15:05

放課後 クラブ活動・自習

6 16:30

月・水・土はクラブ活動に動かし、その他の曜日は自習室や図書室を利用して自学自習に励みます。

豊かな環境で過ごす充実の1日



部活動

部活動というのは先輩・後輩の関係を築く上でとても大事だと思います。僕は軟式野球部に所属していましたが、中学1年生の時にお世話になった先輩は、その後もいろいろなことで相談相手になってくれ、とても助かりました。また僕も高校生になってからは、そのような関係を先輩と作りたいと思ってやってきましたし、こういったことが今の奈良カレッジの学年間を越えた良い関係に繋がっていると思います。

日々の先生との関わり

奈良カレッジでは、学年に関係なく先生方が教科指導をしてくださり、私はこのことをとてもありがたく思っています。私自身、国語や英語、生活日誌などのノートを提出し、添削などの指導をしてもらいました。私の理解が悪くても、解るまでとことん付き合ってください先生がいることも大きな助けとなりました。そうして奮闘して問題を解決することで学び取ったことは、忘れることのない自分の肥やしとなっています。

Teacher Voice

「分からない」から「分かる」へをモットーに、授業を受ける生徒全員が理解できる授業を心がけて日々取り組んでいます。リーディングにおいては、文構造の理解などを視覚的に促進させるため、プロジェクターをはじめとするICT機器を授業に活用しています。また、新しい大学入試制度におけるリスニング力とスピーキング力の向上を図るため、パソコンを利用する英会話授業の活動にも力を入れています。

英語科教諭

岸本 良幸先生



勉強を「する」から「したい」に 変える 奈良カレッジの学び

具体的な目標設定

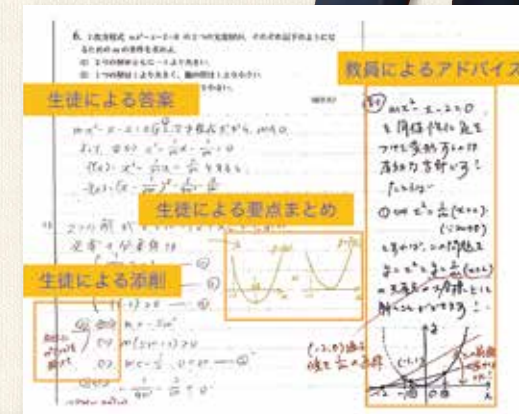
PLAN→DO→CHECK→ACTの繰り返しを実践しています。生徒自身にやることリストを作らせ、いつまでに達成させるか目標設定させます。その後、達成までにかかった時間を書き、また、新たな目標設定をする。それを繰り返し行うことで、自己分析しながら、自身の弱点を克服するなど、社会に出てからも役立つ能力を早い段階で身につけていきます。

進学指導

奈良カレッジでは2つのポイントに留意しておこなっています。1つめは、生徒たちの合格へのモチベーションを高めることです。それぞれの目標に向かって仲間と共に努力する大切さを日々の授業の中で伝えていきます。2つめは、高3の最後まで授業を大切に、授業内容の完全な理解と定着をめざします。あくまで第一志望にこだわることを強調しています。

個別指導

廊下からガラス越しに職員室の中がよく見えるので、質問したい先生がいるかないかは一目瞭然。気兼ねなく質問に行けることで日々の疑問を解消できます。また、苦手教科の克服のために、教科の先生と添削ノートのやりとりをする生徒もたくさんいます。



	月	火	水	木	金	土
読書タイム(SHR)						
1限目	数学	英語	音楽	英会話	理科1	体育
2限目	体育	数学演習	書写	体育	英語	数学
3限目	国語1	理科2	国語1	美術	数学	特別活動
昼休み						
4限目	理科1	数学	英語	地理	地理	英会話
5限目	宗教	地理	数学	国語2	技術	
6限目	英語	国語2	理科2	家庭	英語	

※最終下校時間 〓 中学部 17:30 (ただしクラブ活動のある日は18:00) 〓 高等部 18:30

Teacher Voice

ブラスバンド部では「音を出すことを楽しむ」を第一に活動しています。下級生は気軽に上級生に分からないことを質問でき、合奏ではトレーナーの先生に丁寧に指導してもらっています。吹奏楽では一人ひとりの技量だけでなく、「周りの音をよく聞く」ことも必要になります。「部員全員で美しい音色を作り出す」を目標に、演奏者だけでなく聞いてくださる方々にも楽しんでもらえるよう練習に励んでいます。

ブラスバンド部顧問

村島 慶子先生

文化系クラブ



- 理科部
- 音楽部
- ESS部
- 美術部
- 古典芸能部
- PCロボット部
- 文芸部
- 放送部
- 社会研究部



体育系クラブ



- 剣道部
- バスケットボール部
- 陸上部
- 卓球部
- サッカー部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部



クラブ活動

カレッジのいいところ

Best 10



2 校舎がきれい!
カレッジの自慢は、美しい円形校舎!
アメリカの某有名企業と同じ形だとか…!?



1 個性的な先生が多い!
各教科の先生はとても個性的で、授業も面白いです! 人間的な魅力にあふれる方も多く、相談事には親身になって答えてくれます。



3 自然が豊か!
学校は国定公園の中に建てられていて、校舎の内外に自然があふれています。毎年、虫やどんぐりがいっぱい! 笑



**4 職員室に
行きやすい!**
テスト前はもちろん、普段の昼休みや放課後など、先生はいつでも質問に答えてくれます。

**5 卒業生がよく
遊びに来る!**
卒業生が学校によく遊びに来るので、進路のことなど相談にのってもらえます!



**8 みんな
あいさつができる!**
先生や生徒同士はもちろん、来校者にもみんなきちんとあいさつができ、学校内はすがすがしい雰囲気です。生活面についても生徒自身がきちんとしようと心掛けています。

6 まだまだ進化していく学校!
カレッジは創立17年目。高校のクラブ活動が活発になり、陸上部・バスバンド部など、規模も大きくなっていてまだまだ進化を続けています。

7 海外との交流が多い!
韓国・台湾やオーストラリア・アメリカの生徒が学校訪問をしたり、希望者によるアメリカ・イギリスへの短期留学を行ったり、海外の文化や人々とふれあえる機会が多くあります。



**9 先輩と後輩の
仲が良い!**
生徒会活動はもちろん、文化発表会の実行委員やあいさつ運動など、先輩と後輩が一緒に活動するので、互いに仲良くなれます!

**10 運動施設が
充実している!**
カレッジにはグラウンドが2カ所、体育館が2棟あります。充実した体育の授業・クラブ活動ができます!



卒業生との座談会
カレッジQ&A

奈良カレッジってどんなところ?



竹村 美穂 さん
大阪大学 大学院
薬学研究科博士課程

薬剤師として病院研修をしながら、大学院でがんによる痛みを和らげる治療について臨床研究を行っている。

大阪大学学術生自主研究優秀賞
日本薬学会第139年会優秀発表賞
大阪大学薬友会 若手奨励賞
大阪大学薬学部賞(ダブル受賞は初)
薬学研究科女子大学院生優秀研究賞
イタリアでの国際学会でも論文を発表



Q カレッジで学んだことの中で、今も大きな力となっていることはありますか?
A キャリア教育です。大学では、自分の将来像について考える場はほとんどなく、多くの学生が就職先を探すことに終始する印象があります。私は、カレッジのキャリア教育を通して「自分が行っていきたい医療」を考え、キャリアプランを描くことができました。

Q カレッジでの先生との関わりについて、どのような思い出がありますか?
A 中学部では担任の先生と日々やりとりした生活日誌です。そこでアドバイスをもらいながら、自己分析する力がついたと思います。また、高等部では自分の得意・不得意について、教科担当の先生とマンツーマンで添削などの指導をしてもらったことで、自分の個性や学力を伸ばしてもらいました。

Q 現在、どのような活動をされているか教えてください。
A 従来の治療法では治すことができなかった、がんによる高度な痛みを和らげるための新しい治療法を研究しています。そのためにも、患者さんに寄り添い、よりよい治療法を提案する薬剤師の仕事に大きなやりがいを感じていますし、その中で生まれる臨床現場ならではの気付きや学びを大切にしています。
Q 最後に伝えたいメッセージはありますか?
A 大学受験や薬剤師国家試験を乗り越えるときの原動力は、カレッジで養われた感謝の心でした。ありがとうございました。



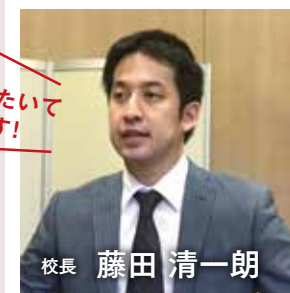
中川 裕貴 さん
大阪教育大学 学校教員養成課程
中等教育専攻・理科教育コース卒業

奈良県内の小学校教員として、児童にとって学びが楽しいものとなるよう、さまざまな視点から指導方法を考えてながら日々の教育活動に奮闘している。
大切にしていることは、子どもたちと時間や遊びをできるだけ共有すること。そして、子どもたちの成長のためにも自分自身が日々成長していくこと。

Q 現在、小学校教員として、特にやりがいを感じていることは何ですか?
A 1日のうち朝から夕方までの8時間を子どもたちと一緒に過ごすことができることです。授業ではその準備から子どもたちの反応をイメージして楽しみながら準備しています。また、休み時間や給食など何気ないときに子どもたちの変化や成長を感じることができることも大きなやりがいになっています。



Q カレッジでの学校生活で一番印象に残っていることは何ですか?
A テニス部のキャプテンとして仲間と過ごした時間です。テニス部が創設されて間もない頃だったので、練習メニューを考えて、少しでもチームが強くなることを必死に考えていました。仲間と協力することの大切さを学んだことが今も財産となっています。



2人とも
大きく羽ばたいて
くれています!

校長 藤田 清一郎

Q 今の仕事を選んだきっかけを教えてください。
A これまでに会った沢山の先生方を見ながら自分もこんな先生になりたいと思ったことがきっかけです。英作文を毎日指導してくれた先生、情熱的で一緒に涙を流してくれた先生、たくさんの先生方に応援してもらった6年間でした。
Q 最後に伝えたいメッセージはありますか?
A 中学校・高校での6年間は大切な人たちに支えられて、苦労しながらも自分に自信をつける時期です。沢山の経験をしてください。

コース紹介

Course Guide

求める児童像 (アドミッションポリシー)

未来の社会において、志を持って
社会に貢献できる人を育てるために、
以下のような児童の入学を期待します。

1

豊かな人間性を備え、
論理的・創造的思考力により
問題を解決しようとする
主体性を持っている児童

2

資料等を適切に読み取り、
それをもとに判断した内容を、
的確に表現できる力を
持っている児童

3

優れた知的能力とともに、
基礎的学力を身につけ、
最後まで諦めずに
課題に取り組める児童

流行の教育実践

キャリア
プログラム | リベラルアーツ
プログラム | グローバル
プログラム

不易の教育実践

知力を伸ばす
教育 | 人間力を育む
教育 | 三位一体の
教育

中・高6年 一貫コース

募集人員 約80名

6年間で可能性を最大限に引き出す

一貫教育の魅力は、従来の枠組みを取り払うことで、教育
内容を精選し、無用な重なりをなくし、必要なところでは
反復によって定着を徹底できることです。さらに、発展的
な学習を取り入れ、余裕のある授業時間数を活かした
効果的な指導を進めることができます。

本学園には中・高6年一貫コースと、高等部1年次にそのコースに編入する高等部(編入)があり
ます。中・高6年一貫コースへは内部進学(カレッジ小学部卒業)児童と他の小学校卒業児童
が入学し、高等部(編入)には他の中学校卒業後、中・高6年一貫コースに合流する生徒が入学
します。6年間または3年間、互いに刺激を与えながら望みうる最高の大学をめざして学びます。

教養講座や教育講演会で
教養の幅を広げ、
志とは何かを考える時期

キャリア教育を
通して志を育み、
未来への決意を
固める時期

グローバル研修や
校外コンテストで自己研鑽を積み、
広い世界で挑戦する時期

自らの志の
実現のために、
第一志望とする
進学先へ
挑戦する時期

担任のサポートのもと、
生活日誌を活用した
効率的な学習サイクルの確立

学習面・生活面でClassiを活用した、
生徒本人のセルフマネジメントの確立

6年間のポートフォリオの総括と
大学進学に向けた自己分析

中学の学習内容の完全習得

高校の学習内容の完全習得と
大学入試に向けた基礎づくり

多様化する
大学入試に
対応できる力
の育成

中学部1年

中学部2年

中学部3年

高等部1年

高等部2年

高等部3年

S選抜
クラス

S選抜
クラス

S選抜
クラス

S選抜
クラス

S選抜
クラス
(文系・理系)

S選抜
クラス
(文系・理系)

総合選抜
クラス

総合選抜
クラス

総合選抜
クラス

総合選抜
クラス

総合選抜
クラス
(文系・理系)

総合選抜
クラス
(文系・理系)

※学年が上がる際に、S選抜クラスと総合選抜クラスの入れ替えを行います。各学期に行う生徒・保護者・教員による三者面談の中で、
学力を含めたさまざまな相談を行います。その結果に基づいてクラス替えを実施します。

高等部(編入)

募集人員 若干名(約40名)

志の実現に向けて各自が志望する大学をめざす

ホームルームクラスは一つとし、高1では高校教材への
慣れや習得のためにEMAとEMSは合同で授業を
行います。高2・高3では、一部の教科において授業を
6年一貫コースとともに行います。

高等部1年

高等部2年

高等部3年

EMA
English &
Math Advance

EMA
(文系・理系)

EMA
(文系・理系)

EMS
English &
Math Standard

EMS
(文系・理系)

EMS
(文系・理系)

一部の授業は6年一貫コースとともに行います。

智辯学園奈良カレッジ中学部 過去の入試問題にチャレンジ!!

問題①

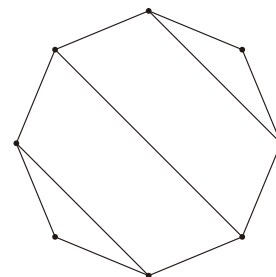
ロボットに心は必要だと思いますか。『必要である』、もしくは『必要でない』のいずれかの立場にたって、400字以内で述べなさい。

問題②

右の図に関して、2つの点の間を結ぶ線をちょうど2本かき加えて、
一筆書きができる図を完成させなさい。
ただし、一筆書きのルールは、以下のようになります。

〈一筆書きのルール〉

- ①かき始めから終わりまで、えんぴつを一度も紙からはなさずに線をなぞる。
- ②同じ線を2回以上なぞってはいけない。



注：実際の入試では、一筆書きができる条件を見つける問題のあとに、この問題がありました。

◎ 解答例は本校で実施する入試説明会にて配布いたします。

大学合格実績

大学入試改革で増加する国公立大学推薦入試への実績

過去3年分
計26名

医学部
13

- 3年連続合格
- 京都大学(人間健康科学)
 - 奈良県立医科大学(医7、看護1)
 - 神戸大学(医)
 - 北海道大学(保健)
 - 大阪市立大学(看護)
 - 熊本大学(医)

その他
学部
13

- 3年連続合格
- 神戸大学(経済)
 - 大阪教育大学(教育)
 - 大阪府立大学(地域保健・生命環境科・現代システム科)
 - 名古屋大学(情報)
 - 京都府立大学(生命環境)
 - 宇都宮大学(農)
 - 東京学芸大学(教育)
 - 東北大学(工)
 - 奈良教育大学(教育)
 - 横浜国立大学(経営)
 - 公立諏訪東京理科大学(工)

志を持って、自ら学びたい大学を選択

2019年度卒業生
143名

医学部
医学科

- 国公立 3
- 私立 18
- 防衛医科 1

国公立大学
47

うち医学部医学科
3(1)

- 東京大学 2(1)
- 大阪市立大学 6(6)
- 大阪大学 4(2)
- 大阪府立大学 7(5)
- 神戸大学 6(4)
- 奈良県立医科大学 4(2)

- 大阪教育大学 1(1)
- 京都工芸繊維大学 1(1)
- 横浜国立大学 1(1)
- 広島大学 1(0)
- 奈良教育大学 4(3)
- 北海道大学 1(0)
- 名古屋市立大学 1(1)
- その他 8(4)

私立大学
451

うち医学部医学科
18(5)

- 慶應大学 2(2)
- 同志社大学 26(20)
- 上智大学 1(1)
- 立命館大学 39(34)
- 明治大学 2(2)
- 兵庫医科大学 3(2)
- 関西大学 45(35)
- 関西医科大学 3(1)
- 関西学院大学 18(14)
- 大阪医科大学 3(2)

- 東京理科大学 1(1)
- 甲南大学 4(0)
- 京都薬科大学 1(1)
- 京都産業大学 12(11)
- 近畿大学 88(63)
- 神戸薬科大学 4(2)
- 龍谷大学 11(10)
- 大阪薬科大学 4(2)
- その他 184(124)

海外大学
7

- ワシントン大学(アメリカ) 1(1)
- 成均館大学(韓国) 1(1)
- その他 5(5)

OB・OG Message

卒業生メッセージ



東京大学 理科一類

山田 智之 さん (2019年卒業)

僕は、10期生として6年間奈良カレッジに在籍し、1年間の浪人生活を経て、この春東京大学理科一類に合格することができました。

僕が奈良カレッジで最もよかったと感じていることは、先生方が惜しみなくサポートをしてくださったことです。奈良カレッジには、親しみやすく、面倒見のよい先生がたくさんおられ、先生方との心の距離がとても近く、気軽に職員室に行くことができました。

そして先生方は授業以外でも、基本から応用までの解説や、時間のかかる添削も嫌な顔一つせず快く引き受けてくださいました。特に、元々苦手意識を持っていた英語は、高3の1学期には東京大学の入試問題に手も足も出ない状態であったにも

かかわらず、受験の直前までの1年間を通して、先生は根気よく毎日指導してくださいました。

また、浪人中も、おすすめの参考書を教えていただいたり、たくさんのアドバイスをいただいたりしました。そしてすでに卒業しているのに、たくさんの先生が僕のことを気にかけてくださっていることにとても心強く感じ、1年間頑張り続けることができました。

これまで支えてくれた家族、6年間苦楽を共にした友人、そして先生方に対して恩返しできるように、奈良カレッジで学んできたことを決して忘れることなく、それらを実践していきたいと思います。本当にありがとうございました。



奈良県立医科大学 医学部 医学科

西本 咲穂 さん (2020年卒業)

私は、奈良カレッジ小学部5期生として入学し、この度奈良県立医科大学医学部医学科に合格することができました。今思えば、この12年間はあっという間でした。

私は中学、高校とバスバンド部に所属し、高2の冬に引退するまで5年間続けました。大変なこともありましたが、大切な仲間ができましたし、一緒に何かを成し遂げることの喜びを知りました。また、最後まで集中して努力する姿勢も身につきました。カレッジには勉強だけでなく部活にも一生懸命な生徒が多いです。頑張っている仲間を見たら、自分も頑張ろうと思えました。勉強や部活、行事など、いろんな場面で互いに支え合い、真剣な場面は全力で取り組み、楽しむ時は全力で楽しみました。とても充実した時間だったと思います。

また、カレッジの授業は面白くて興味深いのですが、内容が濃いので、毎日習ったことを自分のものにするだけでもとても大変でした。疑問に思ったり理解できなかったりするところを先生に質問すると、先生はわかりやすく説明してくださいました。解答が出ていない推薦入試の問題を持っていくと、先生は一から解答を作ってくださいました。先生方のサポート一つひとつが、私の第一志望合格への大きな支えになったと思います。本当にありがとうございました。

これからも、感謝の気持ちを忘れずに、患者さんに安心して診察に来てもらえる医師になるために一生懸命努力していきます。12年間ありがとうございました。

